

考古学演習1B－ I

科目ナンバリング SEM-335
選択必修 2単位

阿部 朝衛

1. 授業の概要(ねらい)

ここでは、旧石器時代・縄文時代研究の現状と課題について、論文を読むことによって把握することを目的とする。また、論文の読み方を修得し、資料の具体的検討方法・手順を学ぶこともめざす。卒業論文を希望する学生は、この演習を通して卒論テーマを検討してほしい。

グループ(個人でも可)に分け、各グループで課題を設定し、それにかかわる論文を選択し書評を行う。発表後、討議を行い、論文に対しての理解を深める。論文は旧石器時代・縄文時代に関するものであるが、自然環境復元、方法論に関するものも含める。これ以外の課題を追求したいグループは事前に申し出ること。

2. 授業の到達目標

- 1.論文がどのような構成になっているかを理解し、論文の読解能力を高める。
- 2.旧石器時代や縄文時代の何が課題となっているかを知る。
- 3.発表・討論の仕方を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

発表・討論の内容(50%)、レポート(50%)によって評価する。出席は当然のことである。

4. 教科書・参考文献

教科書

雑誌論文の概要は初回の授業で説明する。資料を配布するため、特にテキストはない。

5. 準備学修の内容

扱う論文などは帝京大学図書館で入手可能なものなので、図書館の利用方法を学ぶためにも大いに図書館の各コーナーを活用すること。また、考古学実習室には発掘調査報告書などが保管されているので、それも活用する。

6. その他履修上の注意事項

教室内の遺物や資料の扱いには気をつけること。また、それらの教室外への持ち出しは厳禁とする。

初回の授業でグループ分けを行うので、必ず出席すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 履修届提出後、グループ分けを行い、発表の順番を決める。その後、課題の検討。
- 【第2回】 阿部模擬発表、その後、各グループで課題の討議を行う。
- 【第3回】 1・2班発表、質疑応答。
- 【第4回】 3・4班発表、質疑応答。
- 【第5回】 5・6班発表、質疑応答。
- 【第6回】 7・8班発表、質疑応答。
- 【第7回】 9・10班発表、質疑応答。
- 【第8回】 11・12班発表、質疑応答。
- 【第9回】 1・2班発表、質疑応答。
- 【第10回】 3・4班発表、質疑応答。
- 【第11回】 5・6班発表、質疑応答。
- 【第12回】 7・8班発表、質疑応答。
- 【第13回】 9・10班発表、質疑応答。
- 【第14回】 11・12班発表、質疑応答。
- 【第15回】 個人発表、質疑応答。